

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	治療ワクチンの開発を目指した次世代シーケンサーによるヒト膠芽腫、および悪性脳腫瘍の免疫原性遺伝子変異の探索		
1. 研究の目的と方法	悪性脳腫瘍である膠芽腫に樹状細胞療法という免疫療法を行うと、一部の症例に腫瘍の縮小や生存期間の延長などの臨床効果が見られました。樹状細胞療法は腫瘍細胞を攻撃するTリンパ球を作り出します。この研究ではTリンパ球が標的とする腫瘍細胞の抗原を次世代シーケンサーという装置で探し出します。また、膠芽腫以外の悪性脳腫瘍に対しても解析を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2005年1月から2025年8月までに本学脳神経外科において手術を受け、術後再発予防を目的に樹状細胞療法を受けた膠芽腫患者の方。 もしくは2005年1月から2025年8月までに本学脳神経外科において手術を受け、術後再発予防を目的に樹状細胞療法を受けた悪性神経膠腫患者の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術摘出組織から得られ凍結保存された培養腫瘍細胞。 樹状細胞療法の際に採取され凍結保存された末梢血単核球。 および腫瘍組織の病理標本を使用します。	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除し、通常は廃棄する予定の組織の一部をいただきます。また樹状細胞療法の採血時に余った血液をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、生存期間など。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 脳神経外科講座
		氏名	赤崎安晴
	(2) 試料・情報の 管理責任 者	東京慈恵会医科大学 脳神経外科講座 小関宏和	
(3) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、以下の機関（あるいは会社）に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。</p> <p>提供先の機関：公益財団法人 HLA 研究所(京都市), タカラバイオ株式会社(草津市), フィルジェン株式会社(名古屋市)</p> <p>提供方法：個人を特定できる情報は削除し検体のみを郵送で送付します。</p> <p>提供する試料・情報の種類：腫瘍細胞もしくは血液細胞の核酸等</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 脳神経外科講座</p> <p>研究責任者：教授 赤崎 安晴（あかさき やすはる）</p> <p>窓口担当者：助教 武井 淳（たけい じゅん）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3461）</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。